

慣用句⑥

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

絵に描いた餅^{もち}

いくら立派な計画でも、実行しなければ絵に描いた餅だ。

①

慣用句

お茶を濁す^{にご}

②

慣用句

尾ひれが付く

③

慣用句

角が立つ

④

慣用句

鯖を読む^{さば}

⑤

慣用句

猿芝居^{さるしばい}

⑥

慣用句

隅に置けない^{すみ}

⑦

慣用句

血が騒ぐ^{さわ}

⑧

慣用句

根も葉もない

慣用句⑥

名前



「次の慣用句を使って、短いお話（または文章）を書きましょう。」

例

慣用句

絵に描いた餅^{もち}

いくら立派な計画でも、実行しなければ絵に描いた餅だ。

①

慣用句

お茶を濁す^{にご}

なぜ遅刻したのか聞かれても、彼はお茶を濁してばかりいた。

②

慣用句

尾ひれが付く

最初は小さな噂だったのに、尾ひれが付いて大変な話になっていた。

③

慣用句

角が立つ

もう少し優しい言い方をしないと、角が立って喧嘩になるよ。

④

慣用句

鯖を読む^{さば}

本当は十歳なのに、妹は大人っぽく見られたくて十二歳だと鯖を読んだ。

⑤

慣用句

猿芝居^{いぼしあそび}

宿題を忘れた言い訳が、どう見ても猿芝居だったのですぐにバレた。

⑥

慣用句

隅に置けない^{すみ}

いつもはおとなしい彼が、ピアノを弾き始めたらプロみたいで、本当に隅に置けない。

⑦

慣用句

血が騒ぐ^{さわ}

運動会の応援合戦が始まると、なんだか血が騒いで大きな声を出したくなる。

⑧

慣用句

根も葉もない

彼が転校するという噂は、根も葉もないデタラメだった。